

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校高等部 理科（物理） 解答用紙 （2枚のうち1）

5	得点	
---	----	--

--

(1)

①	(ア) 上	(イ) 下	(ウ) 下	/	
②	$\frac{V_0}{\omega L} \sin\left(\omega t - \frac{\pi}{2}\right)$ [A]				/
③	$\frac{2\pi A}{\tau}$				/

(2)

①	ρの次元は $[ML^{-1}]$、Sの次元は $[MLT^{-2}]$ とそれぞれ表されるため、$\sqrt{\frac{S}{\rho}}$ の次元は $[LT^{-1}]$ となる。 これは、vの次元である $[LT^{-1}]$ と等しいため、vが $\sqrt{\frac{S}{\rho}}$ の定数倍であることがわかる。	/
②	x軸正の向きに進む正弦波が $A\sin 2\pi\left(\frac{t}{\tau} - \frac{x}{\lambda}\right)$と表されるとき、$x$軸負の向きに進む正弦波は $A\sin 2\pi\left(\frac{t}{\tau} + \frac{x}{\lambda}\right)$と表される。 従って、合成波の変位は、次のように表される。 $A\sin 2\pi\left(\frac{t}{\tau} - \frac{x}{\lambda}\right) + A\sin 2\pi\left(\frac{t}{\tau} + \frac{x}{\lambda}\right) = 2A\sin\left(\frac{2\pi t}{\tau}\right) \cos\left(\frac{2\pi x}{\lambda}\right)$ 任意の tにおいて、この合成波の変位が0となるのは、$x=0, \frac{\lambda}{2}, \lambda, \frac{3\lambda}{2} \dots$ であり、この位置が定常波の節となる。 よって、任意の節とその隣の節との間の距離は、糸を伝わる正弦波の波長の $\frac{1}{2}$ 倍に等しい。	/

受験番号	
------	--

令和6年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校高等部 理科（物理） 解答用紙 (2枚のうち2)

5 (続き)

(3)

①	(ア)	0.80×10 ²			／				
	(イ)	0.80×10 ²			／				
	(ウ)	0.79×10 ²			／				
②	(エ)	0.24			／				
	(オ)	0.84×10 ³			／				
③	(カ)	㊦	／	(キ)	㊥	／	(ケ)	㊧	／